

校種	学年	指導の重点活動				資質能力の向上
		語彙の充実	語彙の活用力	音読	読解	方策
小	1	・学習の際、 <b>語の意味や成り立ち</b> を深く指導する。	・学んだことを <b>文や会話の中で</b> 用いる機会を増やす。	・ <b>ひとまとまりの語を意識</b> しながら、また、言葉の響きやリズムなどにも注意して読むことに重きを置く。	・範囲を <b>短く区切り</b> ながら文中の重要な語を考えながら <b>内容のたい</b> を捉える。	・朝学習、学習補充教室、スピーチを活用する。また、引き続き家庭学習のプリントを行う。
小	2	・小1・2で学習する全ての漢字を習得できるよう、 <b>ミニテスト</b> を実施する。 ・身近なことを表す語句の量を増やすために、聞いたり読んだりする際に <b>新しい言葉に着目</b> させる。	・ <b>話したり書いたりする際</b> にいろいろな表現を使うようにする。	・ <b>明瞭な発音</b> で文章を読むこと、 <b>ひとまとまりの語や文として</b> 読むこと、言葉の響きやリズムなどに注意して読むことに重点を置く。	・物語文では、登場人物の様子について <b>具体的にイメージ</b> したり <b>行動の理由</b> を想像したりする。説明文では、文章の中の重要な語や文を考えて <b>選び出す</b> 。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で音読、漢字、日記、言葉のプリントを継続して行う。
小	3	・各自 <b>辞書を常備</b> し、いつでも引けるようにするとともに、ゲームなどで楽しく触れられるようにする。 ・漢字の習得時は、同音・同訓異字など <b>意味や使い方を指導</b> する。 ・漢字ミニテストを実施する。	・言葉集めなどを通して、 <b>言葉を分類・整理</b> して、ぴったりする言葉を意識して表現できるようにする。 ・「楽しかった」「うれしかった」などの言葉を <b>使わないで表現</b> する。	・ <b>はっきりとした声</b> で読むとともに、 <b>言葉のまとまり</b> を意識して分かりやすく読む。 ・言葉の響きやリズムなどを楽しみながら読むとともに、声に出して速く読むこともできるようにする。	・説明的文章は「 <b>はじめ・中・終わり</b> 」の構造の型を、文学的文章は「 <b>始まり・展開・クライマックス・終わり</b> 」の型を意識し、段落や場面相互の関係をつかむようにする。その上で、広げて読んだりまとめて読んだりして、自分の考えをもつようにする。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・10分など時間を区切って視写し、優れた文章を視写する機会を増やす。
小	4	・新出漢字は <b>ミニテスト</b> を行い、いつでも再テストが出来るようにする。 ・ <b>漢字辞典を常備</b> し、自分で漢字を調べられるようにする。	・感想文やレポートを書く活動の時、わからなかったり思い出せなかったりする漢字や語彙を、 <b>自分で辞書を調べる習慣</b> を付ける。	・ <b>毎回めあて</b> をもたせて、ひとまとまりの語や文、句読点を意識させて読む。 ・言葉の響きやリズムなどを楽しみながら読むとともに、声に出して速く読むこともできるようにする。	・説明的文章では、「 <b>はじめ・中・終わり</b> 」の構造の型を意識し、内容の中心をとらえて短くまとめられるようにする。 ・物語文では、登場人物の心情、情景など <b>叙述を基</b> に捉える。	・朝学習、学習補充教室、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で漢字の学習、音読、自主学習を継続する。
小	5	・既習の漢字を習得できるよう、定期的に <b>ミニテスト</b> を実施する。 ・百人一首を行い、楽しみながら <b>古典的文章</b> に何度も触れる機会を設ける。	・辞書を用いた書く活動を行い、思い出せない漢字や語彙を、 <b>自力で調べながら書く</b> 場面を意図的に設定する。	・物語文においては「読み取った <b>心情に即した音読</b> 」、説明文においては「読み取った内容から、文章を <b>効果的に説明する音読</b> 」を意識する。 ・教科書にない詩なども音読の家庭学習とし、 <b>様々な文章に親しむ</b> 。	・物語文では、登場人物の相互関係や心情について、 <b>描写を基</b> に捉える。説明文では、事実と感想、意見の違いを押さえ、文章全体の <b>構成を捉えて要旨を把握</b> する。	・朝学習、朝のスピーチを活用する。 ・家庭学習で漢字の学習、音読、自主学習を継続する。
小	6	・小学校で学習する全ての漢字を習得できるよう、 <b>ミニテスト、診断テスト</b> を実施する。	・各授業において「自分の考えを書く」、「ペアやグループでまとめて考えを書く」、授業の終末に「まとめを書く」という「 <b>3つの書く</b> 」活動を実施し、 <b>意思の伝達をする場面</b> を設ける。	・物語文においては「読み取った <b>心情に即した音読</b> 」、説明文においては「読み取った内容から、文章を <b>効果的に説明する音読</b> 」を意識させる。 ・ <b>国語以外の教科の教科書も音読させる</b> 。	・物語文においては <b>登場人物の言動と根拠</b> を、説明文においては <b>主張と根拠</b> をはっきりとさせることを意識させる。	・朝学習やスピーチの活動を活性化させる。 ・家庭学習を習慣付ける。 ・家庭学習の内容を精選する。
中	1	・漢字の習得を目指した <b>定期的な漢字テスト</b> を行う。 ・教室に辞書を常備し、語彙の補充に活用させる。 ・「共通語」と「方言」の果たす役割について理解させる。	・主に <b>鑑賞文やレポート</b> 作りなどを通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・音読による <b>漢字の読みの確認</b> を行う。 ・口語自由詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、 <b>表現の仕方を理解</b> して音読する。 ・ <b>話の構成や自分の立場を明確</b> にしたグループディスカッションやスピーチを行う。	・ <b>根拠を明確</b> にしながら、 <b>自分の考え</b> をもたせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。
中	2	・漢字の習得を目指した <b>定期的な漢字テスト</b> を行う。	・主に <b>意見文や創作活動</b> などを通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・音読による漢字の読みの確認を行う。 ・口語自由詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、表現の仕方を工夫して音読する。 ・話の構成や自分の立場を明確にした <b>グループディスカッションやプレゼンテーション、討論</b> を行う。	・文章の比較や表現の効果から、 <b>自分の考え</b> を広げ深めさせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。
中	3	・漢字の習得を目指した <b>定期的な漢字テスト</b> を行う。	・主に <b>批評文の作成</b> を通し、表現力や語彙力の向上を目指す。	・文語定型詩に書かれている作者の思いや情景を読み取り、表現の仕方を理解して音読する。 ・話の構成や自分の立場を明確にして <b>説得力のある話し方</b> を意識させた <b>グループディスカッションやパブリックスピーチ</b> を行う。	・文章の構成や展開について <b>評価</b> しながら、 <b>自分の意見</b> をもたせる。	・朝学習や家庭学習強化月間の取組を活用した課題を提示する。

